

令和2年度 学校教育自己診断結果 分析・考察

1. 保護者からの評価については良好である。
⇒ ただし、「子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。」は肯定的評価が低く、生徒の回答と齟齬がある。
2. 生徒からの評価についても改善されてきている。
⇒ 「全体的に授業はわかりやすい。」は、71%から78%に伸びており、他も大半の項目で良い評価となっている。「担任や保健室の先生、相談室の先生など、気軽に相談できる先生がいる。」も、57%から60%に僅かであるが伸びている。今後、さらに改善していかなければならない。
3. 学校行事の満足度も、延期・中止もあったが、高評価を得ている。
⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながらも、次年度は可能な範囲で「フェスティバル」「体育大会」を開催していかなければならない。
4. 読書活動については、図書室の整備が急務となっている。
5. 教育相談体制についても、改善が必要である。
⇒ 担任以外の先生に気軽に相談できる体制を検討していく。
6. 生徒の授業に対する姿勢と満足度については、かなり改善されている。
⇒ 授業力向上プロジェクトチームによる授業改善が進んでいることが結果につながりつつある。

まとめ

授業力向上プロジェクトチームが授業改善を進めることが、生徒の学習意欲の向上につながっている。

新型コロナウイルス感染症の影響が続くが、新教育課程に向けて、さらなる改善をしていかなければならない。